



芦安中学校だより

第 9 号

校長 石原敬彦

2018. 2. 26

地域のみなさまと合同で HUG(ハグ)の講習会を実施

災害時の避難所でどんなことが起きるのか学び合いました

2月6日に市の社会福祉協議会と連携し、地域のみなさまと本校生徒合同による HUG(ハグ)の講習会を開きました。HUGの正式名は「避難所運営ゲーム」で、避→H 運→U ゲ→G 頭文字を組み合わせてこう呼ばれています。災害時の避難所で予想される出来事や避難者への対応をゲーム形式で模擬体験する活動です。避難所となった体育館にさまざまな人が避難してきます。病気の人、ペット連れの人、生まれたばかりの赤ちゃんを連れてきた人、産気づいている人等・・・様々な事情を抱えた人たちをどのように避難所の中に受け入れていくのか、グループで相談して避難所の見取り図に配置していきます。次々と人が来るので迅速に対応しなければなりません。



次々に読み上げられるカードを並べていきます



豊かな異世代交流の活動ともなりました

また、毛布や仮設トイレ、水や食糧が届けられます。そういう物資をどこにどのように置くのかも決めなければなりません。当日は30名の地域のみなさまが参加、中学生と協働してくださいました。芦安地区では、日中に災害が起きた場合、中学生が地域のみなさまと協働して、まさに「実働部隊」として活動することになります。「助けられる防災」から「助ける防災」への転換が求められています。今後も具体的に着実に取り組みます。

芦安小学校との授業交流を盛んに行っています。道徳・英語・音楽・英会話科 etc

いわゆる「中1ギャップ」の解消と小中一貫校への橋渡しとして、3学期は芦安小学校との授業交流に力を入れています。これまで小6と中1合同による道徳の授業、本校職員による小学生への英語・音楽の授業を実施しました。算数と理科も近日中に実施する予定です。また、2月23日には、英会話科の授業に小6のみなさんを招待しました。この日は今年度最後の英会話科の授業となり、題目に従って一人10個の英文、会話としては20個の英文を作って発表するというレベルの高い内容に挑戦しました。小6の皆さんには中学生の発表の審査員になってもらいました。



中学校教諭による音楽の授業



英会話科 創作英会話の発表



審査員を務める芦安小学校6年生

新入生保護者説明会 生徒会が学校紹介と歓迎の合唱を行いました。

2月14日、新入生保護者説明会を行いました。学校から経営方針や教育課程、保健関係等の説明をした後、生徒会が主催して、学校紹介を行いました。プロジェクターに芦安中学校での学校生活の様子を伝える写真を映し、中学生がそれぞれ自分の分担する写真について英語で説明をしました。その後、歓迎の気持ちを込めて合唱をしました。もうすぐ3月。春の気配は日に日に強まっていくことでしょう。小学校のまとめをしっかりとやり、胸を張って入学してほしいと思っています。新入生のみなさんの入学を心よりお待ちしております。



学校生活を英語で説明しました



歓迎の気持ちを込めて合唱をしました



パネルで歓迎

山梨大学名誉教授 秋津哲也先生来校。レベルの高い理科に挑戦！

2月21日、11月のハロウインの際にもご協力をいただいた山梨大学の秋津哲也名誉教授が来校され、光に関する理科の授業をしてくださいました。レーザーやLEDを使った実験や、紙コップとホログラムシートで作った筒に光を通す実験など、生徒にとっては興味を掻き立てられると同時にレベルの高い内容でした。さらにALTのウィリアム先生も授業者として参加、英語による理科の授業でもありました。ご多用中、たくさんの機材や教材を持参してくださり、心のこもった授業をしてくださった秋津先生に改めて感謝を申し上げます。



まずは理論を学びます



光を分解する装置を紙コップで製作



見慣れた蛍光灯の光も分解すると・・・

地域おこし協力隊のみなさまが看板を作ってくださいました。

地域おこし協力隊のみなさまが芦安小学校の学校林の枝打ちで出た間伐材で、農園と学校林の看板を作ってくださいました。小中学生が協力して、その看板に文字や絵を描き入れました。そして、2月22日、小中合同で看板の設置を行いました。協力隊のみなさまには、いつも学校に暖かいご支援をいただいています。本当にありがとうございます。



農園入口の看板



小中協力して設置しました



学校林入口の看板